

# WWWブラウザ

# Hot Line vol.10

## THIS MONTH'S TOP NEWS

### インターネットエクスプローラ 5.0 ベータ版のここに注目!

今回はまず、前回お伝えしきれなかったIE 5.0 ベータ版の特徴をお届けしよう。IE 5にはさまざまな改良点が見られるが、ここにあげる4つの点は編集部が特に注目する機能だ。さらにCSS 1をフルサポートしたブラウザや、買収が決定したネットスケープにまつわる話題をお届けしよう。

#### 1 カスタムインストールを選ぼう

IE 5をインストールするときには「カスタム」を選びたい。インストールするコンポーネントを細かく選択でき、ダウンロード時間を節約できる。さらに「詳細設定」を選ぶと、HTMLなどのファイルに関連付けられない選択や、IE 4との共存などの親切な選択項目がある(図A)。

#### 2 アドオンプログラムの拡張

下記のページからは、このコーナーでも紹介したことのあるアレクサをはじめ、IE 5用の4つのアドオンプログラムがダウンロードできる。図Bは株価情報などを表示するBloombergをインストールしたものだ。単にエクスプローラバーにアドオンを表示するだけでなく、ツールバーをカスタマイズして「B」アイコンを加え、アドオンをツールバーから操作することもできる。

URL:  
<http://www.microsoft.com/Windows/Ie/IE5/custom.asp>

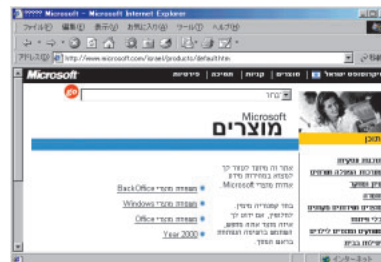
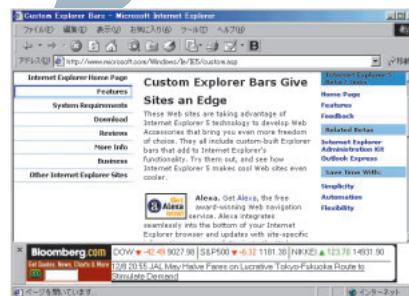
#### 3 まとめて保存が便利

「名前を付けて保存」でウェブページを保存するとき、IE 5では「Web アーカイブ」という形式を選べるようになった。mht という拡張子のファイルが1つ作成され、その中に画像やテキスト、複数のフレームなどをまとめて保存できる。

#### 4 国際化のサポート

IE 5では、インストール時に日本語のほか8つの言語のフォントを選択できる。また、HTML 4.0の特徴である国際化機能が積極的にサポートされ、図Cのように文の方向を「右から左」と指定してあるヘブライ語のページでは、左側にスクロールバーが表示される。

残念ながらIE 5のベータ版は本誌の付録CD-ROMに収録することができない。使ってみてほしい人はマイクロソフトのサイトからダウンロードしてほしい(不具合に注意し、重要なデータはバックアップしよう)。



URL:  
[http://www.microsoft.com/ie\\_intl/ja/](http://www.microsoft.com/ie_intl/ja/)

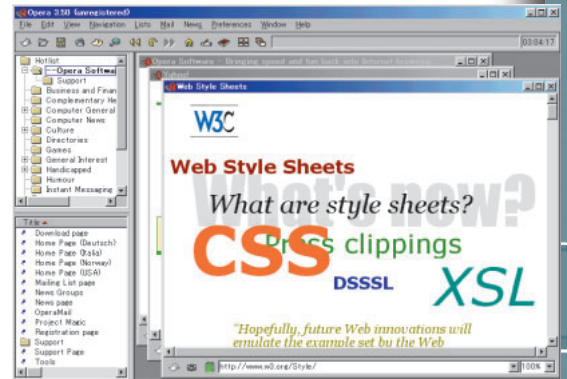
第3のブラウザ Opera 3.50 公開

Operaとは

「Opera」というWWWブラウザをご存じだろうか？ノルウェーのオペラソフトウェア社が開発しているシェアウェア（35ドル）で、サイズが小さく（ダウンロードファイルは1Mバイト強）動作が軽快なわりに高機能で、カスタマイズが柔軟なことに定評がある。英語版をはじめ各国語版があるが、残念ながら日本語版はなく、日本語のページは正しく表示できない。現在ウィンドウズ版のみだが、マッキントッシュをはじめ各種のプラットフォームへの移植も計画されている。

CSSをサポート

今回公開された3.50では、CSS 1がフルサポートされた。IEやナビゲーターがまだ対応していないスタイルまで表示できる。JavaScriptやプラグインには以前から対応していたが、3.50ではサン・マイクロシステムズの「Java Plug-in」を使ってJavaアプレットも実行できるようになった。IEやナビゲーターに飽きた人は試しに使ってみてはいかがだろうか。



URL : <http://www.operasoftware.com/>

★★★コングリ「TOPICS!」★★★

ネットスケープ、ブラウザエンジン Gecko 発表

ネットスケープは、開発者向けに次世代のブラウザエンジン（ブラウザがHTMLを表示するためのプログラム）「Gecko」を公開することを発表した。これまでmozilla.orgで進められてきたオープンソース戦略の最初の成果となるGeckoは、これまで「Raptor」や「NGLayout」というコードネームで開発されていたもので、コミュニケーター5.0の表示プログラムとして使われることになっている。サイズの小さい高速なプログラムとして開発され、HTML 4.0、CSS、XML、DOMなどの最新の標準規格をサポートする。Geckoは、ウィンドウズ、マッキントッシュ、

UNIXの各プラットフォームをサポートしており、開発者が自分のプログラムに埋め込むだけで、互換性の高いWWWブラウジング機能を追加できる。98年12月11日現在、<http://developer.netscape.com>からウィンドウズ用のプログラムがダウンロードできる。

URL: <http://home.netscape.com/newsref/pr/newsrelease711.html>

AOL 会長、mozilla.org の継続を言明

AOLによるネットスケープの買収が発表されたが、mozilla.orgでは、「AOLがオープンソースに対してどのような方針をとるか」について懸念する文書が公開された。これに対しAOLのスティブ・ケイス会長は電子メールを送り、開発者コミュニティの自治を保障し、コミュニケーターの開発を支援することを表明した。

URL: <http://www.mozilla.org/stevecase.html>

サン、JDK 1.2 正式版を公開

サン・マイクロシステムズは、長らくベータ版の状態だったJDK 1.2の正式版を公開した。現在ウィンドウズ版（95、98、NT 4.0）およびSolaris版がダウンロードできる。JDK 1.2で書かれたアプレットは、IEやネットスケープナビゲーター上では動作しないので、実行するにはサンの「Java Plug-in」が必要になる。また、サンはJDK 1.2をベースとしたJava関連技術の総称を新たに「Java 2 platform」と命名した。

URL: <http://java.sun.com/>

マイクロソフト、新しいJava VMを公開

マイクロソフトは、ウィンドウズ用（IE 3.02以降用）の新しいJava VMを公開した。サン・マイクロシステムズがJavaの互換性の問題についてマイクロソフトを相手に起こしていた訴訟において、米連邦地裁がマイクロソフトにJava関連ソフトの修正を命じる仮処分を出したことに対応するもの。マイクロソフトの技術との競合を理由に取り除かれていたJNI（Java Native Method Interface）が含まれている。

URL: <http://www.microsoft.com/java/>

IE 4に2つのセキュリティパッチ

マイクロソフトは、ウィンドウズ版IE 4のセキュリティ問題を修正する2つのプログラム（日本語版）を公開した。1つは、ピリオドのないIPアドレスによってセキュリティゾーンの設定が無効になるバグを修正するもの。もう1つは、スクリプトのペースト機能を悪用するとユーザーのファイルが読めてしまう問題に対するもので、一度公開されていた修正プログラムのアップデート版である。

URL: [http://www.microsoft.com/windows/ie\\_intl/ja/security/](http://www.microsoft.com/windows/ie_intl/ja/security/)



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)